

情報発信は慎重に行いましょう

● インターネットで発信した情報は消えません

インターネットは、世界中の人々へ個人でも発信できるメディアです。発信した情報は基本的に全世界に公開されることになり、簡単に複製され、短時間で広まると削除することもできなくなります。

そして、発信した内容によっては意図しない想定外の反応が起こることもあります。

● その書き込み、本当に大丈夫？

以前からSNSなどでの発言をきっかけに、個人や企業への批判や誹謗中傷が、不特定多数から集中して寄せられる事象が起こっています。いわゆる“ネット炎上”です。

批判や誹謗中傷の対象とされた方が、無関係の第三者だった場合、問題はさらに深刻になります。

2019年8月に高速道路で発生したあおり運転に関連して男女が逮捕された事件がありました。この際に、暴行の様子を撮影する女の動画が拡散したことをきっかけに、ネット上では、事件とはまったく関係のない女性の名前や写真、会社名が投稿され、多くの事実無根の誹謗中傷を受けることとなりました。

「誤った情報を発信するとその責任を問われます。他人を傷つけるような投稿は自分に跳ね返ってきます」書き込みなどの情報発信をきっかけに、警察に逮捕されたり、相手から損害賠償を請求されたり、学校や職場から処分を受ける事例もあります。情報発信する際は、個人情報を含んでいないか、人を傷つけるような内容が含まれていないか、真偽不明の情報でないか、などを必ず確認するよう心がけましょう。



● 個人情報の公開は最小限に

SNSの利用にあたっては、インターネット上に、氏名、メールアドレス、写真といった情報を公開することの危険性についても、きちんと認識しておかなければなりません。不用意に個人情報を書き込んでしまうと、さまざまなトラブルを呼び込むきっかけとなります。

トラブルから身を守るため、投稿する内容は最小限にし、むやみに個人情報を公開しないようにすることが大切です。

SNSは、利用者の使い方にあわせて投稿内容やプロフィール閲覧の公開範囲が制限できますから、トラブルや情報をとられることを避けるため、少なくとも「投稿公開範囲」、「アカウントの検索可能範囲」を次のように設定しておくといでしょう。

2023年12月現在

	投稿公開範囲	アカウントの検索可能範囲
LINE	設定>LINE VOOM>新しい友だちに自動公開>OFF 設定>LINE VOOM>友だちの公開設定>友だちごとに公開・非公開を設定	設定>友だち>友だち自動追加>OFF 設定>友だち>友だちへの追加を許可>OFF 設定>プライバシー管理>IDによる友だち追加を許可>OFF
Facebook	メニュー>設定>設定とプライバシー>共有範囲と公開設定>投稿>今後の投稿のプライバシー設定>友達	メニュー>設定>設定とプライバシー>共有範囲と公開設定>検索と連絡に関する設定>あなたから提供されたメールアドレスまたは電話番号を使って私を検索できる人>友達
X (旧Twitter)	設定とサポート>設定とプライバシー>プライバシーと安全>オーディエンスとタグ付け>ツイートを非公開にする	設定とサポート>設定とプライバシー>プライバシーと安全>見つけやすさと連絡先>メールアドレスまたは電話番号の照会と通知を許可する>OFF 見つけやすさと連絡先>アドレス帳の連絡先を同期>OFF
Instagram	設定>設定とプライバシー>アカウントのプライバシー>非公開アカウント>OK	設定>設定とプライバシー>友達をフォロー・招待する>連絡先をフォロー>OFF

*設定方法はOSや機種、アプリのバージョンにより異なります。

また、公開範囲を友だちに限定していてもその友だちが内容を転載してしまうこともあり得ます。ネット上に書きこんだ文章・写真は決して取り消すことはできませんから、普段から不特定多数に読まれたり見られたりしても困らない内容かどうか十分注意をして投稿するようにしましょう。